

Clarion

01 DRIVE

工事手順説明書

ZF160

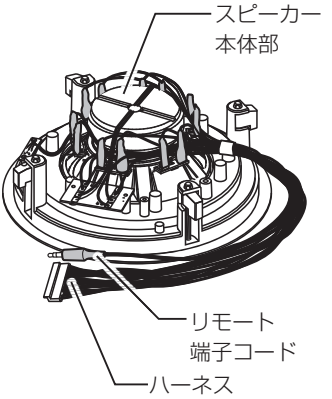
埋め込み型ワイレス
フルデジタルスピーカーシステム

製品構成（同梱品）と各部の名称

本機の製品構成(同梱品)は以下のとおりです。
万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店に申しつけてください。

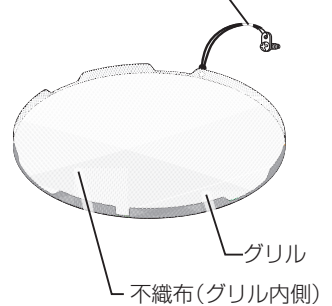
1 埋め込み型フルデジタル スピーカー 1台

- ・浴室設置対応
- ・ハーネス長さ：約 30cm



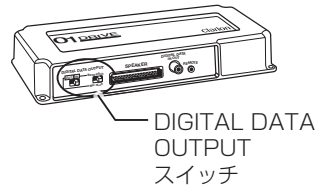
2 スピーカーグリル 1枚

- ・落下防止ワイヤー付
- ・不織布が接着されています。



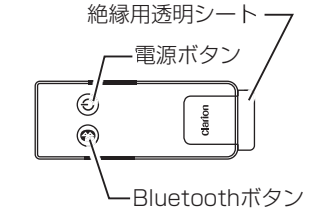
3 スピーカー 駆動ユニット 1台

スピーカー1台と2台設置では設定が異なります。裏面のスイッチ設定手順を参照し正しく設定します。

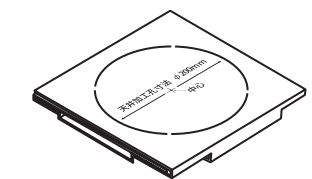


4 リモコン 1個

- ・未防滴仕様のため浴室への設置はできません。
- ・モニター用電池は内部にセット済
- ・リモコン使用時は、絶縁用透明シートを引き抜きます。



5 天井孔用テンプレート (材質:紙) 1枚



6 取扱説明書 1部

7 工事手順説明書(本書) 1部

8 浴室設置時の お願いチラシ 1部

9 設置に関する 注意チラシ 1部

施工業者さまへ

お願い

- 機器に同梱されている取扱説明書はお客様に製品を正しく使用していただくための重要な書類です。
工事完了後、お客様の手元へ届くように建築工事責任者に依頼またはお渡しください。

取付前・取付時のご注意

- 据付工事の前に、安全上のご注意をお読みの上、正しく据付けてください。
- 据付工事完了後、工事手順説明書にある手順にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電などの安全上の不具合がないことを確認してください。
- 据付工事で発生した廃棄物は、廃棄物処理法等の法令にしたがって行ってください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お客様や周囲の人々への危害、家財への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを以下のように区分けして説明しています。これらは安全に施工する上で重要な内容です。以下の内容(表示・記号)をよく理解してから、本工事手順書をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

- 誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。
- お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

⚠ 警告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
	⚡ 禁止 (禁止)
⚠ 注意	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。
	⚡ 必ず行う (必ず行う)
	⚡ 注意しなければならぬ内容 (注意)

■ 設置するときの注意事項

⚠ 警告	
⚡ (禁止)	● 分解や改造はしないでください。 ※故障、火災、感電の原因となります。 ● 熱器具付近への設置や配線は行わない ※故障、漏電等の原因となります。 ● 機器内部に異物を入れない ※故障、漏電等の原因となります。
⚡ (必ず行う)	● 配線工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行い、一次側には必ず漏電遮断器を設置する ※接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電の恐れがあります。 ● 電気工事は確実に行う ※漏電遮断器を使用していなかったり、アース工事が不完全な場合は万一漏電が起きた時、お客様が感電およびケガを負う恐れがあります。 ● 工事手順書に従って、配線や取付工事を行う ※正しく配線しないと、ショートによる火災や故障の原因となります。
⚡ (注意)	● コード類をキズつかない様に取扱いには十分に注意する ※火災、漏電等の原因となります。

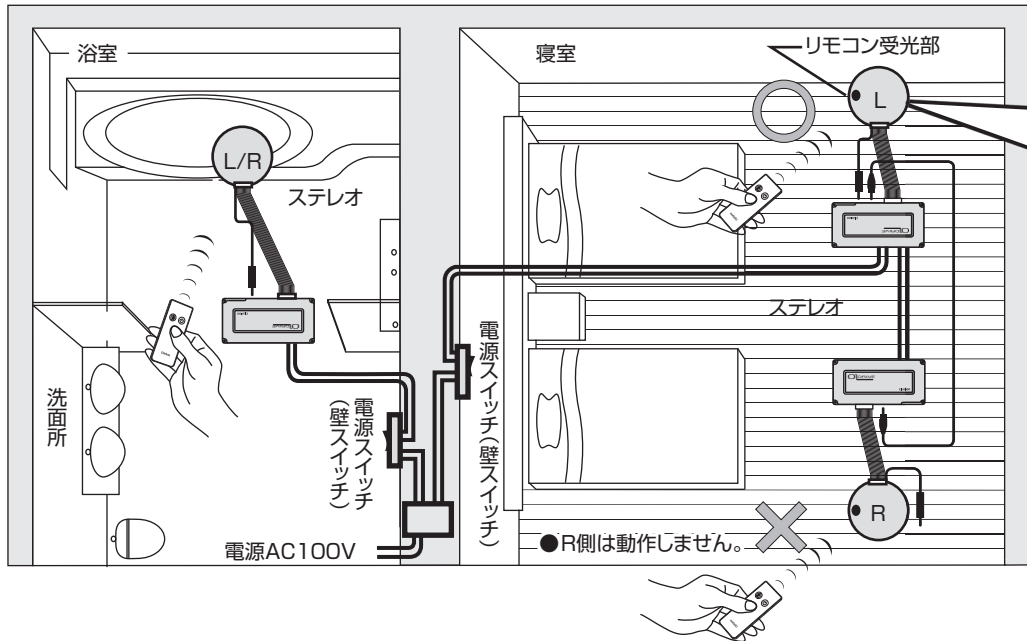
⚠ 注意	
⚡ (禁止)	● 一時側はAC100V以外にはつなげない ※故障、火災、感電の原因となります。 ● サウナ等、50℃を越える場所には取付けない ※故障の原因となります。 ● シンナーなどの有機溶剤でスピーカーやスピーカーカバー、天井を拭かない ※変形、変色、破損等の原因となります。

システム概要とお願い

- ZF160埋め込み型ワイレスフルデジタルスピーカーは、1台および、2台設置し使用することができます
- 1台設置と2台設置の場合では、配線および駆動ユニットの「DIGITAL DATAスイッチ等」の設定が異なります。本工事手順書内の取付手順をご覧ください。正しく配線・設定を行ってください。
- ステレオ効果について
1台設置の場合は、スピーカー内部に配置されている2個のツイーターがLch、Rchとして出力し、ウーファーはモノラルにて出力されます。2台設置の場合には、それぞれのスピーカーがLch、Rchの音を分担し出力し、より広がりのあるステレオ感を楽しむことができます。

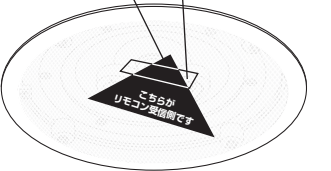
1台設置イメージ図

2台設置イメージ図



■ 設置後のお願い

セロテープ等で貼り付け
切り取った説明文



スピーカー2台設置の場合はお客様にリモコン信号受信側のスピーカーを認識していただくため、設置完了後、右上部分の三角説明文を切り取りセロテープ等でL側のグリルに貼り付けてください。

取付手順

本機の設置・配線・電気工事は以下の手順で行います。工事完了後、試運転を行い正しく設置・配線されていることを確認してください。

据付工事作業工程	
■ ユニット工事 (スピーカーの取付け)	作業手順は裏面参照
■ スピーカーの配線 ■ 駆動ユニットスイッチ設定	作業手順は裏面参照
■ 三角ラベル切り取り、貼り付け (スピーカー2台設置の場合のみ)	作業手順は右上参照
■ 電気工事	作業手順は裏面参照
■ 試運転	操作手順は右側参照

取り付け前のご注意

- スピーカーは、リモコンが真下から操作できる位置に設置してください。
- 天井の孔あけ位置にアジャスターの動きを妨げる物(梁など)がないことを確認してください。
- 天井板が弱い場合は天井の内側を補強してください。
- スピーカーは、天井に溝などがある場所には取り付けられません。
- スピーカーは、サウナ・スチームサウナなどの高温(50℃以上)になる場所には取り付けられません。
- スピーカーの駆動ユニットは天井の孔から容易に結線作業が出来るように余裕をもって配線してください。

試運転

お客様へのお引渡し前にBluetooth機器との接続確認を確実に行ってください。

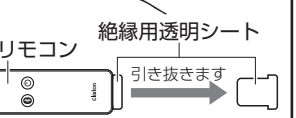
1 電源スイッチを入れます

→ ピピピッとブザー音が2回鳴り、電源が入ります。



2 リモコンの絶縁用透明シートを 引き抜きます

→ 引き抜いた絶縁用透明シートは廃棄してください。



3 リモコン発光部をリモコン 受光側のスピーカーに向け Bluetoothボタンを押します

→ ピピピピピピッとブザー音が4回鳴りスピーカーとBluetooth機器がペアリングモードになります。



4 Bluetooth機器を検索モードに します

5 Bluetooth機器の選択画面に 「01DRIVE ZF160」が表示 されたら、登録します

→ ここまででペアリング作業は完了です。

6 Bluetooth機器(スマートフォン等)の音源を再生し、以下の 内容を確認します

- スピーカーから再生音出力されることを確認します。
- Bluetooth機器の音量ボリュームを調節し、再生音が増減できることを確認します。
- リモコンの電源ボタンを押して、電源がON/OFFできることを確認します。

ユニット工事(スピーカーの取付け)

1 天井にスピーカー取り付け用の穴をあけます

- 1 取り付け位置にテンプレートで直径200mmの円を描きます。
- 2 ジグソー等で線に沿って孔をあけます。

ご注意

ハロゲンライト等の熱源の近くにスピーカーやコード、スピーカー駆動ユニットを配置しないでください。
高温により故障、もしくは火災の原因になる恐れがあります。

2 スピーカーコードとスピーカー駆動ユニットの配線をします

- 1 スピーカーのマルチピンコネクタを駆動ユニットの「SPEAKER」端子に接続します。
- 2 スピーカーの3.5Φミニプラグを駆動ユニットの「REMOTE」端子に接続します。

3 スピーカー駆動ユニットを天井内にセットします

- 1 スピーカー駆動ユニットは断熱材と天井面の間にプザー面を下にして天井面に直接置いてください。
- 2 スピーカー駆動ユニットはスピーカーに当たらない様に十分、奥に置いてください。
- 3 Fケーブルの芯線(活電部)がアルミ箔に接触しているとショートして火災の原因になります。接触していないことを確認してください。

4 スピーカーを天井に取り付けます

- 1 スピーカーのアジャスターが閉じている状態であることを確認してください。
- 2 スピーカーを200mmの天井孔に差し込みます。この時にスピーカーコードがアジャスターに絡まないようにします。
- 3 スピーカーの左右方向(L側ツイーター/R側ツイーター)は赤外線受光部の位置が左側という目安で取り付けてください。
- 4 4か所のスピーカーアジャスタービスを時計方向に回して、スピーカーを天井に固定します。

⚠ 注意

インパクトドライバーは使用せずに 必ず、手締めで確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、スピーカが落下し、けがの原因になります。

ご注意

コネクタ類の接続の再確認やスピーカー取り付けの再調整などは、スピーカーグリルを取り付ける前に行ってください。一般動作確認は、必ず取扱説明書をご覧ください。

5 スピーカーグリルをスピーカーに取り付けます

- 1 スピーカーグリルに付いている落下防止ワイヤーのビスをスピーカーバツフルの矢印位置の留め穴に確実に締め込んでください。
- 2 受光部の切欠き位置に合わせてスピーカーグリルをスピーカーバツフルに止まる位置まで手指で全周を均等に押し込んでください。(ドライバー等の固い部分で押し付けたり叩いたりするとグリルに傷が付くことがあります。)

スピーカーグリルを外すときのご注意

グリルを取り外す場合は千枚通しのような先のとがったものを使用し、フランジと隙間に先端を引っ掛けて、グリル全周の数か所で傷が付かぬように少しずつ引き出してください。

浴室設置時のご注意

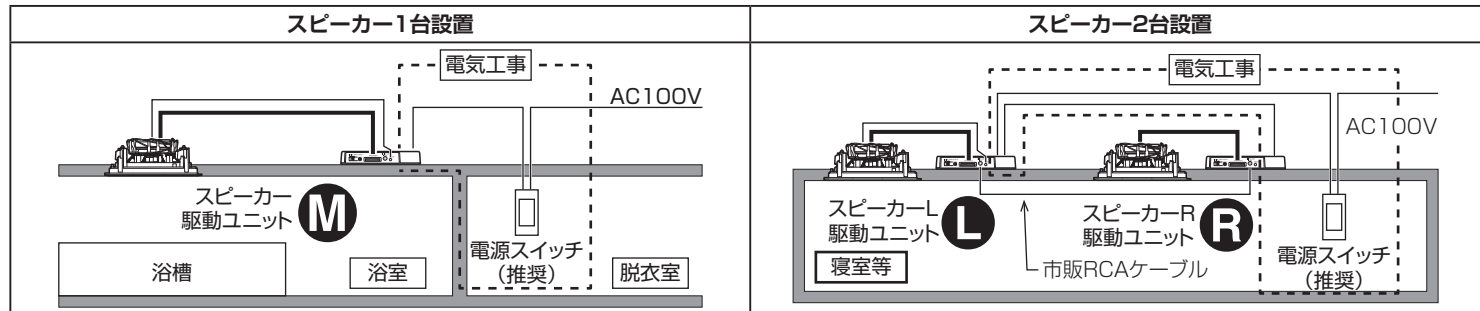
浴室に設置する場合は、同梱の「浴室設置時のお願いチラシ」の内容に従い、スピーカーグリルの内側に貼ってある不織布をはがして設置してください。

市販RCAケーブル

- スピーカーを2台設置する場合は、駆動ユニット間を市販のRCAケーブル(75Ω品)で接続します。
※RCAケーブルは本機には付属しておりません。必要な長さの市販RCAケーブルを現場にて手配してください。

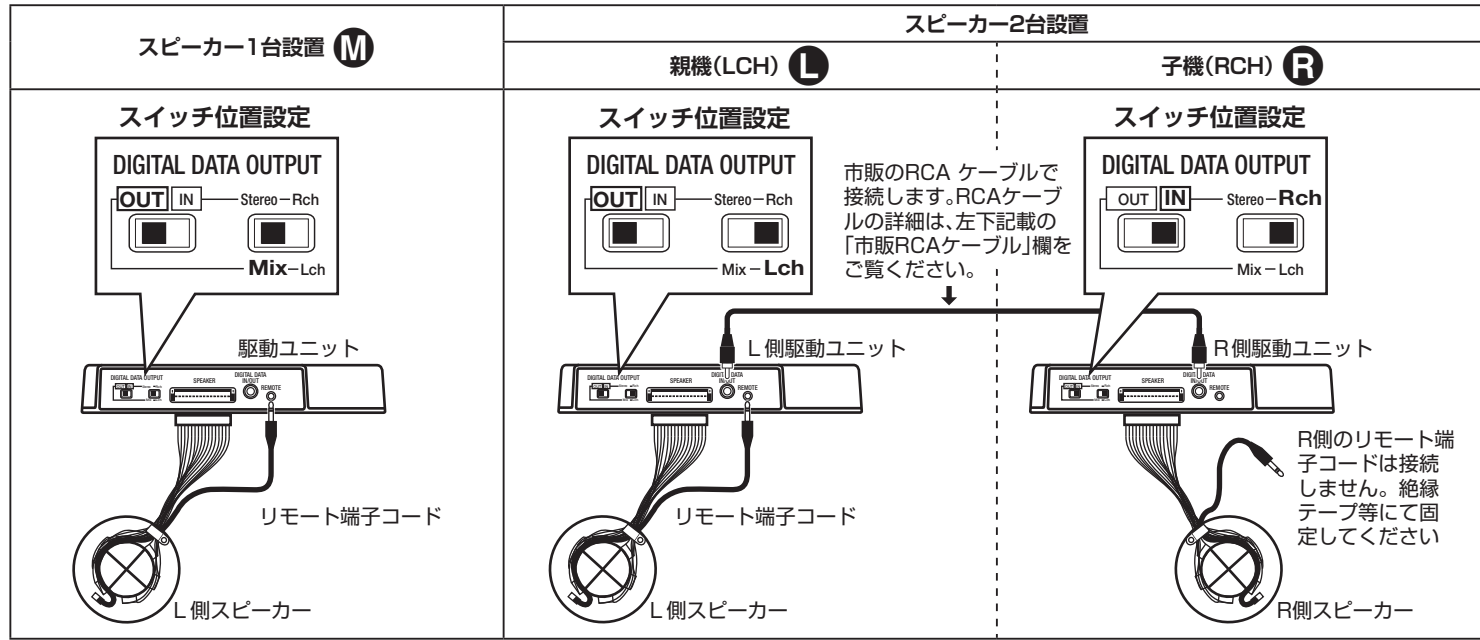


配線図概要



スピーカーの配線・駆動ユニットスイッチ設定

1 各ケーブルの配線および、駆動ユニット内のスイッチ位置設定を以下の通りに行います

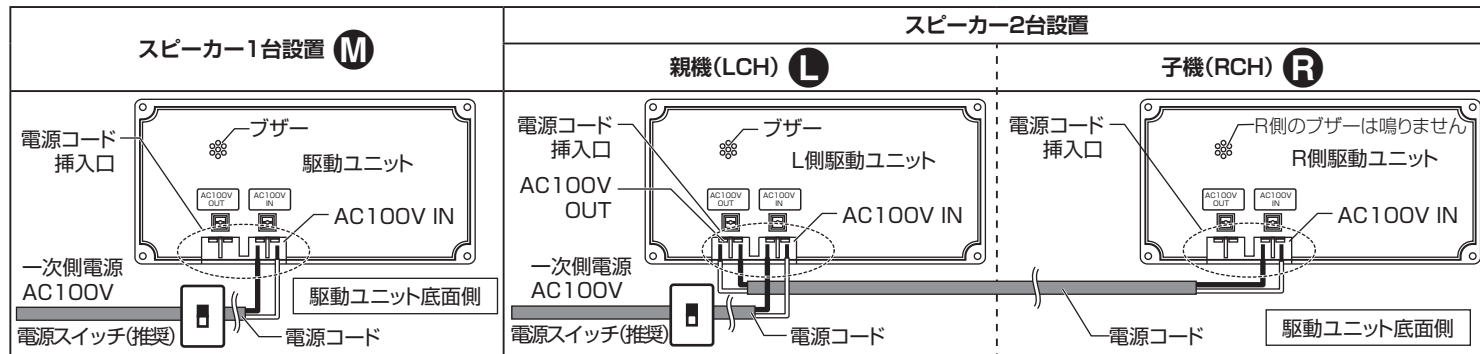
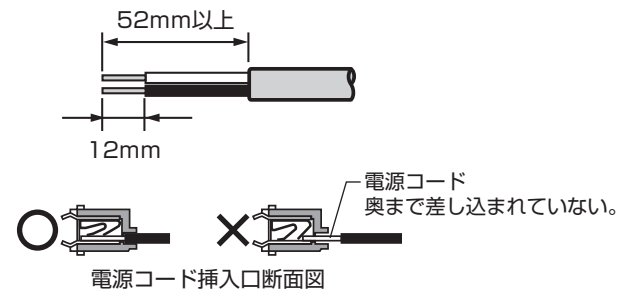


電気工事

電気工事は電気設備基準や内線規定に基づきます。電気工事士の免許を持った方が必ず行ってください。

1 電源コードを接続します

- 1 電源コードの外皮を52mm以上、先端被覆を12mmむきます。
※電源コードはVVF(1.6~2.0mm)線専用です。より線は接触不良により発熱の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- 2 電源コードを下記配線例をご覧ください。駆動ユニットの電源コード挿入口(INおよびOUT)に奥まで差し込みます。(電源コード挿入口断面図 参照)
- 3 電源コードの接続確認を行います。
→ 電源コードが奥まで差し込まれているか目視で確認します。
→ 1本ずつ軽く引っ張って、抜けないことを確認します。



2 市販のAC100V用電源スイッチ(推奨)を脱衣室の壁などに設置します

※市販のAC100V用電源スイッチ(推奨)は、現場手配となります。

3 一次側電源コードを接続します

※一次側の電源コードと駆動ユニット間接続(2台設置の場合のみ)の電源コードは、現場手配となります。

⚠ 警告

工事の際は必ず屋内開閉器(ブレーカー)及び漏電遮断器を設置すること